

NO	図書分類	タイトル	著者	コメント
1	78	暴走社長の天国と地獄	木村 元彦	高級官僚から大分トリニータの社長に就任、15年でチームを日本一に導き、翌年財政破綻に追いやった溝畑宏。大分トリニータと元社長・溝畑宏に関する謎を解明し、様々な問題を暴くノンフィクション
2	910	強父論	阿川 佐和子	【目次】第1章 立派な老衰(一に妻子を養うため、二にいささかの虚栄心のため；老人ホームに入れたら、自殺してやる！ ほか)； 第2章 父とわたし(結論から言え、結論から；なんとという贅沢なヤツだ！ ほか)； 第3章 父と母(この草履を切り刻んでやる；これでもウチはまともなほうだ ほか)； 第4章 最期の言葉(お前の名前はお墓から取った；三味線にしちまうぞ！ ほか)
3	913	ファミレス	重松 清	妻と別居中の雑誌編集長・一博と、息子がいる妻と再婚した惣菜屋の康文は幼なじみ。料理を通して友人となった中学教師の陽平は子ども2人が家を巣立ち“新婚”に。3・11から1年後のGWを控え、ともに50歳前後で、まさに人生の折り返し地点を迎えたオヤジ3人組を待っていた運命とは？夫婦、親子、友人…人と人とのつながりを、メシをつくって食べることを通して、コメディータッチで描き出した最新長篇。
4	913	アキラとあきら	池井戸 潤	零細工場の息子・山崎瑛(あきら)と大手海運会社東海郵船の御曹司・階堂彬(かいどうあきら)。生まれも育ちも違うふたりは、互いに宿命を背負い、自らの運命に抗って生きてきた。ふたりの数奇な運命が出会うとき、人生を賭した戦いが始まる…。
5	913	星の子	今村 夏子	「大切な人が信じていることを、私は理解できるだろうか。一緒に信じていることが、できるだろうか…」。主人公ちひろは、出生直後から病弱だった。両親は救いたい一心で、「あやしい宗教」の信仰にのめり込み、家族を崩壊させていく。
6	913	この嘘がばれないうちに	川口 俊和	愛する人を想う気持ちが生み出した、不器用でやさしい4つの「嘘」。「過去にいられるのは、コーヒーが冷めるまでの間だけ」不思議な喫茶店フニクリフニクラにやってきた、4人の男たち。どうしても過去に戻りたい彼らの口には出せない本当の願いとは…？
7	913	最愛の子ども	松浦 理英子	“パパ”日夏、“ママ”真汐、“王子”空穂。わたしたちの心をかき立てるのは、同級の女子高生三人が演じる疑似家族。時代を切りひらいて来た作家、最新にして最高の傑作！
8	913	杏っ子	室生犀星	生い立ちに数奇な運命をもちながら、文壇に老大家としての地位を築いた作家平山平四郎の生涯と、野生をひそめたその娘杏っ子の生々流転の姿を鮮やかに描く。